鴻巣市立大芦小学校　学校だより　令和６年　１月　９日

おおあし

第９号

《 大芦小ＨＰ https://oashi-e-konosu.edumap.jp/ 検索 》

「笑顔と真剣さ」を前面に

令和６年がスタートしました。今年の一年が、皆様にとって笑顔にあふれ幸多き年となりますようご祈念申し上げます。引き続き本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新しい年を迎え、気持ちを新たに頑張ろうとはりきっているお子さんもいるかと思います。しかし、前向きな気持ちで立てた目標も途中で忘れてしまったり、諦めてしまったりすることもあるのではないでしょうか。３学期の始業式では、メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手が高校生の時に活用した「目標達成シート」（大元となる目標を明確にし、それを達成するための具体的な項目を書き込んだもの）を例に、「目標達成のために最後まで全力で取り組む大切さ」を話しました。こういった節目の機会にせっかく飛躍を誓うのですから、決めた目標に対してそれを実現するための具体的な指標や行動を自分なりに考え、最後まで粘り強く取り組んで欲しいと願っております。私は生活の様々な場面で、真剣な眼差しで取り組んでいる子どもたちの表情、そしてその真摯な風土の中で垣間見える子どもたちの笑顔が大好きです。こういう場面があってこそ、学校生活が意義深いものになるのだと考えています。

野球選手として投打共に最高峰の実力をもつ大谷選手も、高校生から現在までの道のりには様々な苦難や計り知れない努力があったはずです。その中で、大成することが困難であると思われた二刀流という唯一無二の存在としての実力を証明し、地位や名声を確立しました。昨年末のドジャース入団会見では、それでもなお自分がまだ成し得ていない「ワールドシリーズ制覇」を目標に掲げ、その中で自分がチームに欠かせなかったと言われる存在になりたいと語りました。おそらく大谷選手の頭の中には、そのために自分が何をすればよいのか、その具体行動もすでに思い描かれ、実践しているのでしょう。一般庶民にはその途方もない契約金ばかりに目が行きがちとなってしまいますが、大谷選手はしっかりと次の夢や目標を見定め、真剣にストイックに野球と向き合っています。その一方で、純粋に野球を楽しんでいる様子も垣間見えます。時にはチームメイトにちょっかいを出しながら仲良くコミュニケーションを取り、少年のような笑顔を見せていることもあります。全国の小学生に「野球しようぜ」と呼びかけた大谷選手からは、なりたい自分の実現に向けてひたむきに取り組む真剣さが伺えるのと同時に、野球を心から愛する笑顔にあふれています。

学校では３学期も、知育・徳育・体育の３つをバランスよく育成していくことを目指します。これに合わせ自分のエネルギーとなるような目標設定をし、「笑顔と真剣さ」を前面に押し出しながら、着実に成長できるよう自分を高めていきましょう。今年の干支である辰年にちなみ「龍の如く躍動の年に」「目標達（辰）成の年に」となるような飛躍を期待しております。

（校長　横尾　　臣）

令和６年元日に発生した能登半島地震により、犠牲となられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地域の皆様の安全の確保を心よりお祈りいたします。